



研修生の皆さんと記念撮影

## JICA主催の8ヶ国研修生 工場見学会を開催

JICAが主催する世界各国の気象業務能力向上を目的とした研修の一環で、日本の気象観測機器メーカーの工場見学会が、昨年12月に当社で開催されました。

ミャンマー、フィリピン、スリランカなど8カ国の気象業務担当者、JICA担当者や気象庁担当者総勢10名が来社しました。

当日は、当社製品や製造工程の見学のほかに、日本気象測器工業会会員各社による製品説明・展示が行われました。各国担当者は、世界最小・最軽量のGPSラジオゾンデiMS-100や電力事情の良い地域でも太陽電池で動作可能なPOTEKAIに興味を示し、多くの質問がありました。

今後も当社の技術や経験を生かし、世界各国に貢献できるよう取り組んでいきます。

(担当:気象・管制事業部、グローバル営業グループ)



iMS-100放球試験

## スリランカ気象局へiMS-100納入

スリランカ気象局へGPSラジオゾンデiMS-100を納入しました。

これまで観測に使用されていた当社のGPSラジオゾンデRS-11Gを、最新型のiMS-100に切り替える提案が、スリランカ気象局に認められ、更新となりました。

納入にあたっては、スムーズなゾンデの切り替え観測のために、新受信システムを用いたRS-11GとiMS-100それぞれの観測トレーニングを、コロンボの気象局本部にて行い、「新しい受信システムは使いやすくてとても良い」と好評でした。

また、ゾンデの放球試験は、気象局を見学に来た小学生も見守るなかで行われ、青空を上昇していくラジオゾンデに歓声が上がっていました。

ラジオゾンデを見上げた時の子供たちの笑顔が原動力に、各国の気象観測の充実に貢献するべく海外展開に注力していきます。

(担当:気象・管制事業部、グローバル営業グループ)


 テープカットに臨む  
隈本九州支店長(右端)


GPSラジオゾンデRS-11G

## 沖縄県立博物館企画展に展示されます

1月26日から3月6日まで沖縄県立博物館・美術館(沖縄県那覇市)にて、「大気と気象～見えない空気の“力と技”～」企画展が開催されます。

この企画展は、大気を中心に「気象や海洋との関わり」「気体の不思議な現象」「自然災害」など、気象に関連する内容が展示されます。これにより、気象に関する基本的な知識を得るだけでなく、沖縄特有の気候・環境と生活の関わりを理解し、大気が引き起こす気象現象に興味関心を深めてもらうことを目的としています。

「気体の不思議」と題されたエリアにおいて、当社のGPSラジオゾンデRS-11Gが展示されますので、期間中に沖縄県へお越しの際は、ぜひご来場ください。

(担当:気象・管制事業部、九州支店)

## Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。